

平成 28 年度 SMAP研修会 2016

この事業は、PA（プロジェクトアドベンチャー）の手法をもとにした、「しが『心の冒険』プログラム」SMAP（Shiga Mental Adventure Program）を通して、「人を信頼するところ」を育て、学校や各種事業等で子ども同士、あるいは大人同士の人間関係づくりを効果的に支援できるスキルを身につけることを目的として実施しています。

【日時・会場】

○湖北・湖東会場（彦根市荒神山自然の家）
平成 28 年 8 月 4 日（木）・5 日（金）

○湖南会場（野洲市コミュニティセンターみかみ）
平成 28 年 8 月 8 日（月）・9 日（火）

※2会場とも2日連続講座



【参加者】

学校教員および子どもの体験活動を行う団体職員等 42名（2会場の合計）

【活動の様子】

平成 28 年 8 月に、湖北・湖東会場（彦根市荒神山自然の家）および湖南会場（野洲市コミュニティセンターみかみ）の2会場において、研修会を開催しました。

学校の教員をはじめ、子どもの体験活動を行う団体等から参加があり、2会場合わせて 42 名が受講されました。

各会場とも最初に、この研修会における4つの約束事が講師から提示されました。学級づくりでも4月に行える内容です。

1. 心から楽しむ
2. 一生懸命する
3. 心も体も安全を損なわないようにする
4. 公平かつ正直にする

※プラス1. 参加する

チャレンジバイ・チョイス

（挑戦レベルとその方法は、その人自身が決定します。）



1日目は、「学ぼう」をテーマに緊張をほぐすため、主にアイスブレイクを中心に研修を行いました。身体や気持ちをほぐすためのアクティビティから、心のハードルを下げ、

安心感を育むためのアクティビティへと段階を追って、活動を進めていきました。



(たけのこニョッキ)



(ポッパー)



(オールアボード)

2日目は、「深めよう」をテーマに問題を解決し、絆を深める活動を中心に研修を行いました。また、体験学習で大切にしたいことや、オープンクエスチョンの方法についての講義をとおして、子どもたちとの関わりについても考えていきました。



(トラストリーン)

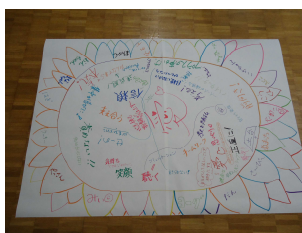


(トラストウェーブ)



(トラストダイブ)

「Being(ビーイング)」では、集団の「心の安全」を自分たちで作り上げていく体験をしました。安心できる集団になるために自分たちで約束を決めていく活動です。参加メンバーの発言を、誰もがしっかりと受け止め、頑張り認め合う中で、より信頼関係を築くことができました。



今回の研修会をとおして、人間関係づくりを効果的に支援できるスキルの習得はもとより、参加者同士の“絆”も深まりました。

参加者アンケートの結果と感想（一部抜粋）については、別添で掲載しておりますので、ご覧ください。

【その他のアクティビティ（一例）】



(たまごラップ)



(パイプライン)

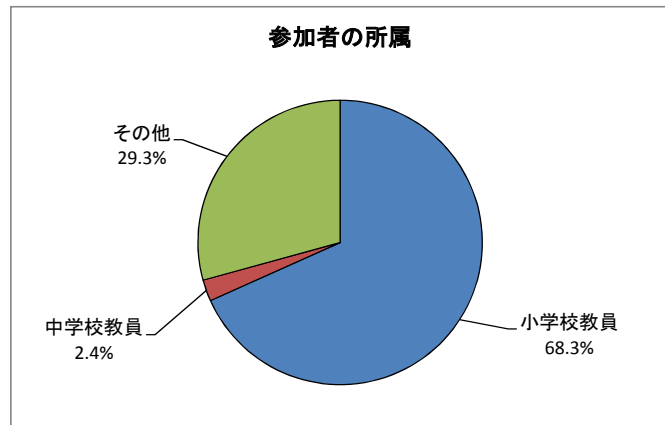


(スパイダーネット)

SMAP研修会2016 アンケート結果（全体）

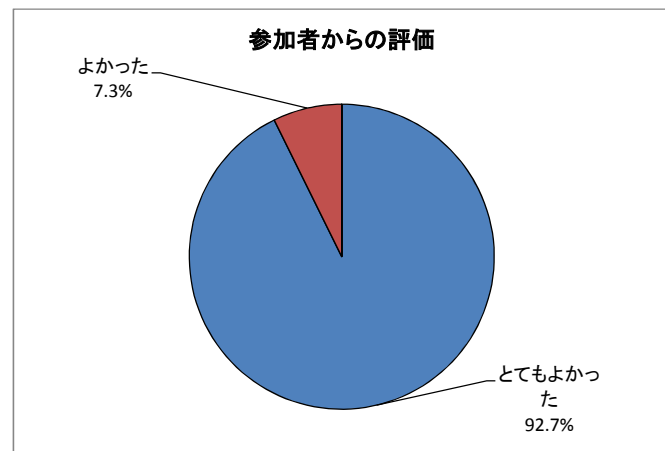
問1 所属をお答えください。

	所 属	人数	割合
1	小学校教員	28	68.3%
2	中学校教員	1	2.4%
3	その他	12	29.3%
合計		41	100%



問2 本日のSMAP研修会はいかがでしたか。

	評 価	人数	割合
1	とてもよかった	38	92.7%
2	よかった	3	7.3%
3	あまりよくなかった	0	0.0%
4	よくなかった	0	0.0%
合計		41	100%



※理由は次項に一部掲載しています。

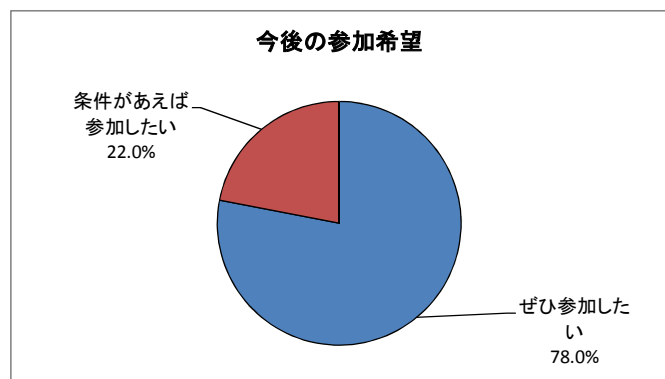
問3 本日のプログラムの中で日頃の取組にぜひ取り入れてみたいと思ったプログラムはどれですか。

アクティビティ名をお答えください。（複数回答可）

- ・パイプライン...14
- ・ZOOM...5
- ・たけのこニョッキ...4
- ・進化論じゃんけん...2
- ・シロクマ...2
- ・スパイダー...1
- ・言葉といっしょ...7
- ・共通点がし...5
- ・ポップー...4
- ・トラストダイブ...2
- ・パタパタ...2
- ・ガーディアンエンジェル...1
- ・Being...6
- ・アベレージヒッター...4
- ・ブラックホール...3
- ・ゾンビ...2
- ・オールアボード...1
- ・ホグコール...1
- ・火水木...6
- ・ガチャンタグ...4
- ・グルーピング...3
- ・ネームトス...2
- ・じゃんけん大嵐...1
- ・マンモスおに...1
- ・サイン集め...5
- ・トラストウェーブ...4
- ・たまごラップ...3
- ・キリスト...2
- ・せーの！...1
- ・ネームジャングル...1

問4 今後、SMAPの指導技術を高めるための研修会が企画された場合、参加したいと思われますか。

	参加希望	人数	割合
1	ぜひ参加したい	32	78.0%
2	条件があれば参加したい	9	22.0%
3	特に参加は考えていない	0	0.0%
合計		41	100%



問2 理由(一部抜粋) ※原文のまま、記載してあります。

◎ とてもよかった ○ よかった △ あまりよくなかった × よくなかった

◎	たくさんのアクティビティを盛り込んでくださったことと、1つ1つのメニューの盛り上がるポイントはどこにあるかや、ステップアップさせる方法を提示して下さったり、こうすれば盛り上がる(盛り下がる)ことにも触れて指導して下さったところが良かったです。また、〇〇の団体の時は△△な反応であった、とか、どのような場面に用いると良いアクティビティなのかも細部にわたって簡潔に説明くださりわかりやすかったです。
◎	初めは緊張していたんですが、活動が進むにつれてお互いの考えを交流できるようになったと思います。「言ってもいいのかな？」という不安があったらなかなか言えないけど、「この人たちなら大丈夫。」という安心感があったら思いを伝えられるんだなと感じました。教師が活動をどんどん進めていくのではなく、子どもたちを信じて活動を任せるということも大切だと勉強になりました。
◎	二日間の流れがとてもフレキシブルで、グループの変化を感じやすくわかりやすい研修会でした。私たちもこの滋賀県でより良い価値ある学びの環境づくり(創り)の力の一部にでもなれたらと思います。日々ステップアップですね。今回も参加させていただき本当にありがとうございました。
◎	世代も職も住む場所も違う人が、協力していけたこと、思いやりと全体のバランスを考えながら行動する大切さを勉強することができました。ただ楽しいだけでなく、指導者として、これからどうしていけばいいかの足がかりになったように思います。
◎	研修をとおして、つながりというものをもとても感じる事ができました。子どもたちのことを思い浮かべてみると、今の子どもたちはこんなに真剣に、信頼し合い、支え合っているのか不安になったけど、その不安を取り除くのは、私たち教師の働きかけだなと改めて思いました。楽しく参加できました。
◎	いろいろなアクティビティが知れたというだけでなく、実際に体験してみることによって、参加者の皆さんと心の面でつながれたように思っています。大人になって、こんなにみんなと一生懸命に取り組んで達成感を味わうことも少なかったのですが、互いにつながり合えた経験をもとに、子どもたちにも返していけたらなと思いました。
◎	期待していた以上の研修でした。学級経営やすこやかタイムの提案、体育の体づくり運動に活用していきたいと思います。人間関係に苦しんでいる子や、不登校、生きている価値が見いだせない子どもたちに、この活動を通して希望を与えていければと思います。ありがとうございました。
◎	普段受けている研修とは全く違う感覚で、体験することの大切さを改めて感じました。いろいろなしなかけをすることで、子ども自らが感じ、考え、学べるというところに感動しました。これから大事にしたい「主体的な学び方」を体験することができて本当によかったです。
◎	多くのアクティビティを実践させていただき、すぐにでも活用できそうでした。また、より学びを深めるコツを知ることができたので、まずは、行事から子どもたちが主体的に活動できる声かけや呼びかけをしていきたいと思いました。
◎	初日のアイスブレイクから始まって、グループの段階に沿って進めていただいて、グループがどのように成長していくのか(一例)を体験できた。体験しただけでなく、現場でAPをどう取り入れたらよいかを実際やってみるととても納得がいった。
◎	たくさんのアクティビティを教えてもらって、それだけでなく、参加者自身が楽しんだり、本気になったり、共感し合ったり…と、クラス作り大切なこと十人間力を学んだように思います。ありがとうございました。とても楽しい2日間でした。
◎	レクレーション(トラスト系も含めて)を行うことで、単に自分自身が楽しめるだけでなく、相手のことを考えるための、自分がしてほしいことをするのだ、まさに人権教育そのものを学べたことがよかった。
◎	みんなが和やかな表情でプログラムに取り組めたのがとてもよかったです。研修会に参加してみて(子どもになりきって)初めてわかることがたくさんありました。
◎	どの活動も全員が参加し、1人1人が考え話し合える環境で、楽しんで活動できました!たくさんのアクティビティも知ることができ、また参加したいと思います!
◎	信頼できる進行、ゲーム、声かけ、言葉づかい、仲間がいることの安心感を感じながら活動できた。

問5 その他(一部抜粋) ※原文のまま、記載してあります。

今年度もありがとうございました。様々な活動は、人とのつながりや思いやり、信頼のもとに成り立っているのだと思いました。今の子どもたちに身に付けさせたい、経験させたいことなので、ぜひ学校でやってみます。
2日間、健ちゃんの声かけが自ら考え行動できるものであり、とても達成感を味わうことができました。その指導の仕方が何より勉強になりました。2日間ありがとうございました。
どうなるかと不安な思いで会場に来たけど、終わるころには、来てよかったなと思いました。優しく、温かいみんなに会えてよかったです。ありがとうございました。
けんちゃんの指導の仕方は、とても勉強になりました。「引き出す」「ゆだねる」「やる気にさせる」私も取り入れていきたいです。
初任者研修、SMAP研修共に楽しく参加させてもらいました!また機会がありましたら参加させてください!ありがとうございました。
リーダー育成には必要だと思う。このような研修はどんどん増やしてほしい。

平成 28 年度「SMA P 研修会 2016」開催要項

- 1 趣 旨 社会生活に不可欠な自尊感情や他人との信頼関係、困難に挑戦し課題を解決する力などを身に付けることを目的として、学校教育や社会教育の場で行う集団遊びや冒険活動での積極的な活用を促進するため、本県において独自に開発した SMA P (Shiga Mental Adventure Program (しが「心の冒険」プログラム)) を用いて、県内の教員や体験活動指導者を対象に、学校や各種事業などで子どもの人間関係づくりを効果的に支援できる指導者の養成を行います。
- 2 主 催 滋賀県教育委員会
- 3 日 程 大津・湖西会場 平成 28 年 8 月 1 日 (月)・2 日 (火)
湖北・湖東会場 平成 28 年 8 月 4 日 (木)・5 日 (金)
湖 南 会 場 平成 28 年 8 月 8 日 (月)・9 日 (火)
※時間はいずれも午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分まで
- 4 会 場 大津・湖西会場 大津市木戸公民館 (大津市木戸 58)
湖北・湖東会場 彦根市荒神山自然の家 (彦根市日夏町 4794-1)
湖 南 会 場 野洲市コミュニティセンターみかみ (野洲市三上 828)
- 5 内 容 第 1 回「学ぼう」 緊張をほぐすアイスブレイクを中心に講義・実習
第 2 回「深めよう」 問題を解決し絆を深める活動を中心に講義・実習
※2 日の連続講座で、3 会場とも同じ内容です。
- 6 講 師 滋賀県教育委員会事務局生涯学習課 職員 (SMA P 指導者)
- 7 募集対象 2 日連続講座を受講できる方で、青少年教育、社会教育、学校教育等に携わっている 18 歳以上の方
- 8 定 員 各会場 20 名 (※定員を超えた場合は、抽選となります。)
- 9 参 加 費 無料 (傷害保険は主催者負担)
- 10 応募方法 直接下記担当へ FAX またはメールで申し込んでください。
なお、教員の方は所属長をとおして、お申し込みください。
[申込・問合せ先] 滋賀県教育委員会事務局生涯学習課 担当: 辰己
TEL 077-528-4652
FAX 077-528-4962
メール tatsumi-tsuyoshi@pref.shiga.lg.jp
- 11 応募締切 平成 28 年 7 月 1 日 (金)
- 12 その他 昼食は、各自で用意してください。